

適応計画策定推進検討会 参考資料

参考資料 ② 適応計画策定検討会 実施結果

①地域における適応の取組の課題及び具体的な実施手法の情報収集及び整理

適応計画推進のための課題

- アドバイザーへのヒアリングから判明した、適応計画策定・適応の取組の推進のために必要なこと
 - 「地域づくりに繋がる機会」としての適応を考える
 - 計画策定に対して市民参加のプロセスを作る
 - 関連部署に理解してもらって適応策を進めるという方向では、なかなか進まない。自助・互助の観点でのアプローチが必要である
- 自治体担当者に伺った、適応計画が未策定の理由
 - R05年度自治体担当者へのアンケートによると、人員不足、予算不足、関係する既存施策との調整が難しいといった回答が上位

→適応の取組をまちづくりに活かしている例を、「適応オプションリスト」として整理し、情報提供を行う

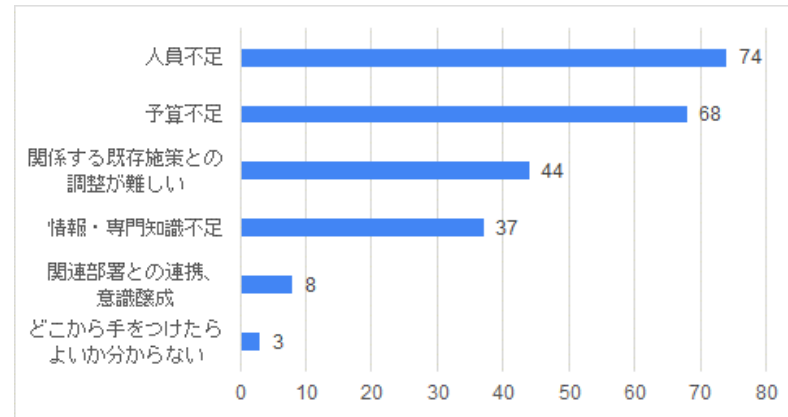


図.R05自治体へのアンケート結果「適応計画が未策定の理由」

表.作成した適応オプションリスト（一部抜粋）

適応アクション	統合・転換型としての適応アクション分類	実施主体	概要(内容や方法等)	トレードオフ	コベネフィット	地域適応計画に記載のある地域例
水環境・水質保全	流域治水における上下流連携による地域活性化	行政 個人	流域の水環境保全について流域の自治体住民と連携し、取組を推進。		・流域の地域活性化	福島市
排水施設の整備等	災害対策を通じた住みやすいまちづくり	行政	一定規模の降雨により発生する洪水に対する浸水被害防止のため、下水道施設（雨水管、雨水ポンプ場、雨水調整池）のや透水性舗装等により、排水機能向上のための整備を促進する。		水資源管理や河川環境の改善にも利用可能。水系感染症対策にも効果を発揮する。	宮城県 千葉県 横浜市 静岡県 大阪府 堺市

参考資料 ③ 適応計画策定検討会 実施結果

②東北地域における適応の推進及び地域適応計画等に関する市区町村へのアンケートの実施ととりまとめ及び結果分析

地域気候変動対策等に関するアンケート調査

- ・ 目的：今後の気候変動適応計画策定を推進・支援する際の参考として活用すること
- ・ 対象：東北地域の市町村の担当者
- ・ 実施時期：2024年7～8月
- ・ 回答自治体数：132

表.自治体へのアンケート結果「東北地域ですでに実施されている適応の取組」

取組内容	回答数
【農林水産分野】暑熱に対する適切な栽培管理技術の普及	13
【農林水産分野】気候変動に適した品目への転換の促進	14
【農林水産分野】畜舎内での散水・細霧装置の導入等の暑熱対策の推進・支援	5
【水環境・水資源分野】河川等の水質モニタリング	61
【水環境・水資源分野】渇水時にも水を安定して供給できるシステムの導入	12
【自然生態系分野】動植物への温暖化の影響調査	3
【自然生態系分野】野生鳥獣の分布域拡大への対策（防護柵の設置、駆除等）	58
【自然災害・沿岸域分野】河川や排水施設の整備	55
【自然災害・沿岸域分野】雨水貯留・浸透施設の設置	27
【自然災害・沿岸域分野】ハザードマップ、タイムライン等の作成・周知	109
【自然災害・沿岸域分野】防災訓練・防災教育の実施	97
【健康分野】熱中症対策の周知啓発	112
【健康分野】クーリングシェルターの設置・周知啓発	80
【産業・経済活動分野】工場設備の災害対策促進	5
【産業・経済活動分野】暑熱や積雪現象等に左右されない通年型の観光誘客対策の検討	10
【国民生活・都市生活分野】豪雨等による災害時のエネルギー確保（再生可能エネルギーや蓄電池の導入促進、関係事業者と支援協定を結ぶ等）	34
【国民生活・都市生活分野】グリーンカーテンの設置促進	14

気候変動適応計画策定状況(東北6県)

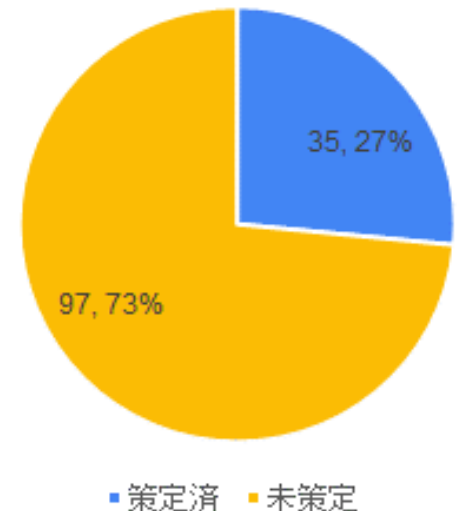


図.自治体へのアンケート結果「東北地域における適応計画策定状況」
注：グラフ内数字は、（自治体数,割合）を示す。

参考資料 ④ 適応計画策定検討会 実施結果

④ 地域適応計画の策定に向けたワークショップ_まちづくりとの関係を考える_

表.ワークショップ詳細

件名	地域を守る・盛り上げる適応アクションプログラムを企画しよう！
特徴	令和5年度に開催し好評だった、地域課題との同時解決という、ポジティブな視点での「適応」を考えたワークショップ。 基調講演にて、気候変動への適応と地域課題の同時解決について学んだ後、実際に地域づくり型の適応アクションプランの企画書素案を作成。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在・将来の地域づくりに気候変動影響への適応策の取組をどのように活かすことができるか、ワークショップを通じて考え、体感する。 ・ 地域適応計画の策定のための足がかりとする。
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進め方説明 2. 自己紹介・役割決め（発表者） 3. ワーク①「地域資源を考えよう」 4. ワーク②「グループで取り上げる地域課題を選び、目標を考え」 5. ワーク③「地域課題の解決策を考えよう」 6. ワーク④「地域課題の解決策を出し合おう」 7. ワーク⑤「適応アクションを整理しよう」 8. ワーク⑥「適応アクションプロジェクトの企画書素案を作成しよう」 6. グループ発表 7. 総括/質疑応答